



高速道路を再現！！
最終コーナーに壁をつくり、現場の雰囲気



公道！？
路面上にテープを貼りまるで公道のように



開会式
引き締まった雰囲気
に制服姿、憧れます

みち、ひと...未来へ。



こうして安全は守られています

高速道路の整備がすすみ、高速道路は、私たちの生活に大変身近なものとなってきました。そんな高速道路上で、ちょっとした気のゆるみや不注意がもとで、多くの事故が発生しています。(NEXCO西日本HPより)

3月13日、春も感じる晴天の平日。西日本高速道路パトロール中国株式会社様の貸切でした。NEXCO西日本といえば聞いたことのある方も多いのでは。写真のように、一見タカタサーキットとわからない風景に。

前方で事故が発生したことを想定し、テストされている様子です。実際に発煙筒をたき臨場感がありました。

私たちにもできること

高速道路は便利で利用する機会が増え、いつの間にか緊張感もなく走行しています。ですが、100km/h近くスピードがでている車が常に周りにいることを思えば、とても危険な場所でもあります。自身が気をつけることはもちろんですが、他車に巻き込まれることや積荷落下、動物侵入など様々な事態が想定されます。そんな緊急事態や二次災害、また防止のためこのようなテストもされています。

今回コースを使用いただき、私たちにも高速道路利用者として曖昧にしている規則など、守るべきことはたくさんあることに改めて気付くことができました。

NEXCO西日本ホームページに安全走行のポイントという項目がありました。(以下引用)

安全走行のポイント

ETCレーンは時速20km以下に減速し、**徐行!**

切れていませんか? ETCカードの**有効期限**

渋滞後尾では、**ハザードランプ**で後続車に合図を!

進路変更をするときは**ウィンカー**で必ず合図を!

ライト点灯はお早めに

ヘッドライトは上向き・下向きと、**こまめに切り替え**を

守っていますか? **キープレフト**

大型車の運転特性をご存知ですか?

屋根の雪を落としてから走行を!

動物にご注意!

ドクターヘリが着陸することがあります

知識はあっても曖昧にしているところがありました。

“このくらい大丈夫”が大事故につながりかねません。自分の運転をもう一度見直してみようと思いました。

サーキットといえばレースやタイムアタックが思い浮かびますが、今回のようなテストや研修など様々なことに利用いただいております。こんなことに使ってみたいという方はお気軽にご相談ください。

よく高速道路で見かけるパトロール車両も!!



①元から公道のような風景ですね。

②の奥には高速道路で見かけるパトロール車両が。間近で見るとカッコいいです。

③の写真は普通車や中型バスで見え方の違いなどを検証されています。